

独立行政法人 水資源機構 分任契約職
渡良瀬川ダム総合管理所長 一ノ瀬 泰彦
(公印省略)

見 積 依 頼 書

- 1 件 名 思川開発建設所消防設備点検等業務(オープンカウンタ方式)
- 2 業 務 場 所 栃木県鹿沼市上南摩町字神谷2958-4 思川開発建設所
- 3 履 行 期 間 契約締結の翌日から 令和9年3月10日まで
- 4 内 容 等 別添、仕様書等のとおり

上記について、下記により見積合わせを行いますので入札心得書等を熟覧のうえ提出して下さい。

記

- 1 現 場 説 明 実施しません。
- 2 見 積 参 加 要 件 当機構における一般競争(指名競争)参加資格業者のうち、物品等の製造又は販売の業種区分「設備の保守・点検管理」の認定を受けており、営業品目の「冷暖房(空調)設備、衛生設備(水道設備、消防設備を含む)、冷凍機設備、給排水設備、防火排煙設備」に登録されている者であり、かつ、栃木県に本店・支店がある者。
- 3 見 積 書 等
 - 1)様 式 等 見積書の様式は任意としますが、見積書には見積年月日並びに見積者の住所及び氏名(法人の場合は、法人名及びその代表者名)を記載し、代表者の印章を押印されたものに限りします。
 - 2)提出方法 FAXによる。(※FAX番号は、4)に記載された番号)
なお、FAXに抛りがたい場合は、持参又は郵送(一般書留、簡易書留、その他配達記録が残る方法に限る。)による。
 - 3)提出期限 **令和8年6月23日 12:00** まで
 - 4)提 出 先 独立行政法人 水資源機構 渡良瀬川ダム総合管理所
FAX番号 0277-97-3300
 - 5)担 当 者 総務課 阿部
 - 6)質 問 書 提 出 期 限 令和8年6月16日 12:00 まで
 - 7)見 積 回 数 1回を限度とする。
 - 8)そ の 他 ①見積価格は、見積者が消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を見積書に記載してください。
②見積書を送信した後は、見積書の引き換え若しくは変更又は見積の取消しはできません。また、見積者は見積り誤り、見積書の書き誤り等を理由に見積りの無効を主張することはできません。
- 4 見 積 辞 退 仕様書の交付を受けた後に見積もりを辞退する場合であっても、見積辞退届の提出の必要はありません。
- 5 見 積 結 果 見積結果については、契約の相手方として決定した者のみに、原則として提出期限の翌日(翌日が休日となる場合には休日でない直後の日)までに通知します。
- 6 そ の 他
 - 1)契約金額は、見積書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)とします。
 - 2)請負代金の支払いについては、履行確認後の一括支払となります。
 - 3)最低金額を提出した見積者が複数ある場合は、「くじ」により契約の相手方を決定します。
くじの方法は、別添「くじの方法」とおりとします。

思川開発建設所消防設備点検等業務 仕様書

1. 適用

この仕様書は、独立行政法人水資源機構渡良瀬川ダム総合管理所（以下、「機構」という。）が施行する「思川開発建設所消防設備点検等業務」（以下、「本業務」という。）に適用する。

2. 目的

本業務は、思川開発建設所の消防設備について、消防法に基づく点検を行うものである。

3. 業務場所

栃木県鹿沼市上南摩町字神谷 2958-4

独立行政法人水資源機構渡良瀬川ダム総合管理所思川開発建設所

4. 契約期間 契約締結の翌日から令和9年3月10日

5. 業務内容

業務場所に設置した消防用設備について、消防法及び消防法施行令並びに消防法施行規則に定める点検を行い、消防設備等点検結果報告書等を機構に提出する。

6. 点検回数

年間2回（7～8月：総合点検 1～2月：機器点検）

7. 点検設備

①構造 鉄筋コンクリート地上2階建て 延床面積 1,663.57 m²

②消火器具

・粉末消火器 14本

③自動火災報知設備

・受信機 1台

[蓄積式 P型1級（壁掛形）15回線]

・熱感知器（差動式スポット型） 45個

・熱感知器（定温式スポット型） 18個

・煙感知器（煙式スポット型）
（光電式非蓄積） 13個

・地区音響装置 4個

・発信機（P型1級 屋内型） 4個

④誘導灯（小型、中型）	20 台
⑤防火・防排煙設備	
・ 防火シャッター 煙連動付	1 台
・ 連動制御盤・連動操作盤	1 台
・ 熱感知器	2 個
・ 煙感知器	1 個

8. 報告書

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書（消防法別記様式第 1 号）正 1 副 2 部を作成すること。

9. 本業務の実施について

本業務を実施する際は、日程、時間について担当職員と調整し実施する。

10. その他

本仕様書に定めのない事項について、疑義等が生じた場合は、発注者受注者協議して定めるものとする。

令和 年 月 日

独立行政法人水資源機構分任契約職

渡良瀬川ダム総合管理所長 一ノ瀬 泰彦 殿

住 所

会 社 名

代表者氏名

見積依頼書等の交付受領書

令和8年6月11日に交付された「思川開発建設所消防設備点検等業務」の見積依頼書等を受領しました。

〈連絡先〉

担当部署名：

担 当 者：

電 話 番 号：

F A X 番 号：

◆くじ用数値

--	--	--

「くじ用数値」を記載いただくのは、最低価格者が複数となった場合に契約の相手方を決定するためです。詳細は、「くじの方法」をご覧ください。

くじの方法

今回の見積徴取に際して、最低金額を提出した見積者(以下「同価格者」という。)が複数あった場合、以下の方法により、契約の相手方を決定します。

1. くじの方法について

同価格者の「くじ用数値」の合計を同価格者数で除算し、余りの数値と「くじ用順位」が一致する者を、契約の相手方とします。

2. くじ用数値について

1)「くじ用数値」とは、見積書を提出される方が、任意に決定していただく「0:ゼロ」から「999」の3桁の整数とします。なお、数値の記載等がない場合は「0:ゼロ」として取り扱わせていただきます。

2)「くじ用数値」の機構へ対しての通知方法は、機構から送信(FAX)した見積依頼書の受信確認を機構に対して返信(FAX)する際に記載してください。この場合、機構から特に受信確認に用いる様式の指定がない場合は、通信欄などに下記のように記載してください。

記載例)

くじ用数値		
1	2	3

※数字は、明確に記載してください。

3. くじ用順位について

「くじ用順位」とは、同価格者が機構に対して見積書を送信(FAX)していただいた順に、「0:ゼロ」から順に付番させていただく番号となります。

- 例) ・同価格者が2者の場合、見積書の送信順に「0:ゼロ」、「1」
 ・同価格者が3者の場合、見積書の送信順に「0:ゼロ」、「1」、「2」

4. 具体的な決定方法について

例) ・同価格者が2者の場合

見積業者	見積額	くじ用順位	くじ用数値
〇〇工務店	¥500,000-	0	123
□□工業	¥600,000-		999
△△組	¥500,000-	1	4

$123+4=127$
 $127 \div 2 = 63 \text{ 余り } 1$
 ・余り「1」とくじ用順位「1」が合致する、△△組が契約の相手方となる。

例) ・同価格者が3者の場合

見積業者	見積額	くじ用順位	くじ用数値
〇〇工務店	¥500,000-	0	123
□□工業	¥600,000-		999
△△組	¥500,000-	1	4
◎◎工業	¥500,000-	2	1

$123+4+1=128$
 $128 \div 3 = 42 \text{ 余り } 2$
 ・余り「2」とくじ用順位「2」が合致する、◎◎工業が契約の相手方となる。